

2019年度

自 2019年4月1日
至 2020年3月31日

事業報告書

公益財団法人 木村看護教育振興財団

2019年度 事業報告書

1 海外看護研修助成－長期海外研修－（公募事業）

看護師・助産師・保健師の資格を有する者であって一定の英語力を有するものを対象として、3週間の研修に要する研修費、滞在費、往復航空運賃等を全額助成する。2019年(令和元年)度は以下の通り実施した。

① 研修先

アメリカ合衆国ミネソタ州ロチェスター メイヨークリニック

② 研修者数

次の5名を派遣した。

小宮山大（北里大学病院）

柴山薫（佐賀県医療センター好生館）

菅香織（神戸大学医学部附属病院）

日塔裕子（ファミリーホスピス東林間ハウス）

武藤亜紀子（武蔵野赤十字病院）

③ 研修期間

2019年9月14日（土）から10月6日（日）までの3週間

（別紙「事業報告に関する附属明細書」を参照）

2 看護研究助成（公募事業）

医療機関等で実際に看護等の業務に携わっている看護師・助産師・保健師の資格を有する者又はその者を含む研究グループを対象として、1件当たり100万円を限度として助成する。

2019年(令和元年)度は、次の者が代表研究者である研究6件に対し助成した。

井上玲子（東海大学医学部看護学科）

今野友美（防衛医科大学校医学教育部看護学科/順天堂大学大学院）

木村真子（宮城大学看護学群）

林下里見（医療法人梶山医院/九州大学大学院医学系学府）

横山萌利（東京大学大学院医学系研究科）

吉本照子（千葉大学大学院看護学研究科）

（別紙「事業報告に関する附属明細書」を参照）

3 専門看護師奨学金助成（公募事業）

看護系大学大学院専門看護師教育課程2年次進級予定者に対して、1件当たり年額60万円の助成を行う。

2019年(令和元年)度は次の9名に対して助成を行った。

大森和美（日本赤十字広島看護大学大学院）

岡田和之（聖路加国際大学大学院）

小田郁代（自治医科大学大学院）

塚田容子（東京慈恵会医科大学大学院）

戸崎紗弥香（群馬大学大学院）

中野国枝（佐賀大学大学院）

南里穂（佐賀大学大学院）

宮崎里美（佐賀大学大学院）

三輪陽子（愛知県立大学大学院）

（別紙「事業報告に関する附属明細書」を参照）

4 看護に関する講演会の開催

以下の通り、東京で第78回看護に関する講演会として開催した。

- ① 日時 2019年(令和元年)11月9日(土) 13時30分～17時15分
- ② 会場 東京都千代田区霞が関 新霞が関ビル灘尾ホール
- ③ 演題 「未来を拓く 看護の力 -2025年以降の超高齢社会における医療・看護・介護の在り方と注目事例-」
- ④ 内容
 - 講演
 - ア 講演1 石川 B.光一 国際医療福祉大学医療マネジメント学科 教授
「超高齢社会における医療・看護・介護の在り方と看護への期待」
 - イ 講演2 ドーン・ネルソン メイヨークリニック アドミニストレータ
「Leading Nurses into the Future of Healthcare」
 - ウ 講演3 平原優美 公益財団法人日本訪問看護財団 事務局次長
同財団あすか山訪問看護ステーション統括所長
「訪問看護師が考えるこれからの地域支援のありかた」

エ 講演 4

- ① 杉町圭蔵 遠賀中間医師会おんが病院・おかがき病院統括院長
九州大学名誉教授
「病院の経営戦略と高齢者が住みやすい街作り」
- ② 亀石千鶴 同医師会おんが病院看護部長
「広い知識と経験が求められる超高齢社会の看護師業務」

オ 講演 5

- ① 本間之夫 日本赤十字社医療センター 院長
「高齢者の排尿管理—このゆゆしき課題」
- ② 正源寺美穂 金沢大学医薬保健研究域 老年・リハビリテーション
看護学分野 助教
「排尿自立に導くチーム医療とアウトカム評価」

○パネルディスカッション

「超高齢社会における医療・看護・介護ニーズへの対応と看護への期待」をテーマとして石川教授がファシリテータとなり、講演を行った7名の方々により実施した。

⑤ 参加者 295 名

5 国内外の看護関係者の集いの開催

2019年(令和元年)11月9日(土)夜、霞が関において、第78回講演会の開催に引き続き、看護関係者の集いを開催した。

看護関係者の集いでは、木村代表理事の挨拶に続き、厚生労働省医政局長、日本看護協会会長(代理)、メイヨークリニックのドーン・ネルソン氏の挨拶等が寄せられ、また、当日の講演会で講演した石川 B.光一国際医療福祉大学教授ほかの方々、関係機関・団体やこれまでの当財団助成対象者も多数来場され143名を数える盛会となった。

会場は、関係機関の方々、メイヨークリニックの方々、メイヨークリニック等であつて研修した助成対象者等が活発に交流し、我が国と米国の医療・看護に関する情報交換もなされるなど有意義な集いの場となった。

6 医療・看護・介護に関わる新たな取組みについての調査

(1) 高度な看護実践に係る調査

- 本調査は、高度な看護実践について専門的な研修が実施されている場合において、その研修に対する助成が当財団の目的に合うか等を調査し、適切と認められる場合に新たな事業の可能性の検討につなぐことを目的として2013年(平成25年)度から実施している。
これまでの調査により、以下2件のニーズを確認している。
 - ① 緩和ケアについて既に一定水準の知識・経験・技能を有する看護師を対象として2014年(平成26年)度から行われている専門的緩和ケアプログラム研修への支援
 - ② チーム医療の高度な実践のため、海外医療機関における医師・看護師・その他スタッフによるチーム医療の実際(意思決定、連携状況、情報共有等)について学びたいとのニーズ
- ① は緩和ケア推進を目的として研修を行っている公益法人の取組みであり、同法人では研修ツール「専門的緩和ケア看護師教育プログラム」(略称SPACE-N)について、2016年(平成28年)度から2年間にわたりその有効性の検証を行っており、その検証結果の精査が続いている。
- ②については、メイヨークリニックでの現在の研修に再度参加することでニーズに対応できるという結論に達した。

(2) 訪問看護に必要な看護実践に係る調査

- 本調査では、これまで在宅医療・訪問看護の実態や課題、支援策について国、自治体、医療機関、関係団体に対してインタビューを行い、ニーズの内容や研修等の状況を把握してきている。

【これまでの主な訪問先】

厚生労働省、東京都、静岡市、北九州市、日本看護協会、首都圏所在看護協会、日本訪問看護財団、東京大学大学院、京都大学大学院及び同医学部附属病院、産業医科大学、国立長寿医療研究センター、千葉大学大学院、聖路加国際大学及び同病院、東京慈恵会医科大学附属柏病院、藤田医科大学及び同病院地域包括ケア中核センター、日本赤十字社医療センター、済生会熊本病院、淀川キリスト教病院、尾道市民病院、遠賀中間医師会おんが病院、医療法人ふらて会西野病院、霞が関南病院、志村大宮病院、山形県鶴岡地区医師会、東京都板橋区医師会、22の訪問看護

ステーション等

- 2019年度も国や自治体が在宅医療・看護の強化に取り組んでおり、全国的に在宅看護の研修が幅広く活発に実施されている。主催者も自治体、看護協会、医療機関等と多様であり対象者も医療関係者・施設関係者から地域住民まで様々である。
- 従って、当財団が新たな研修を設ける必要はないと考える。むしろ当財団としては、現行の看護研究、専門看護師奨学金助成、講演会等の事業の中で、在宅医療・看護に関わる研究の採択や、人材の育成、医療・看護の将来見通しと取組みに関わる新しい情報の提供という形で取組みをさらに充実させることとし、2019年度もこの方針で取り組んだ。

(3) 医療・看護・介護に関わる新たな取組みについての調査

地域包括ケアシステムづくり等に取り組んでいる有力自治体や地域医療を担う医療機関、高度急性期病院等に対して訪問調査を行うとともに、それにより把握した注目すべき取組みのうち適切なものについて東京講演会での発表につなぐ等を行っている。

7 刊行物の発行等

(1) 海外看護研修レポート 2018

関係機関・施設の参考に供するため、1,000部を刊行し、全国の看護系大学及び350床以上の病院並びに関係省庁や全国職能団体等に提供した。

(2) 看護研究集録 26

看護研究集録についても900部を刊行し、全国の看護系大学及び主要な病院に配布した。

(3) 2018年(平成30年)度 東京講演会の記録

2013年(平成25年)11月に当財団創設22周年を記念して開催した東京講演会には、それ以降毎年度、多数の方の参加を得ており評価を頂いていることから「講演会の記録」を刊行している。

2018年度の講演会についても、その内容を全国の看護系大学・病院等に情報提供するため、登壇者やメイヨークリニックの協力を得て、講演、プレゼンテーション等を収録した講演会の記録を1,470部刊行し配布した。

2019年(令和元年)11月に開催した東京講演会についても「講演会の記録」の作成を進めており、本年9月に刊行する予定である。

8 看護教育助成認定式及び医療・看護関係者の集い等

(1) 2019年度看護教育助成認定式

2019年(令和元年)6月11日(火)、東京千代田区の霞が関ビルの東海大学校友会館にて、海外看護研修、看護研究助成及び専門看護師奨学金助成の対象者に対して、理事、評議員等が出席し開催した。

(2) 海外看護研修生に対するオリエンテーション及び研修報告会

① 研修オリエンテーション

2019年6月11日(火)、霞が関ビルの東海大学校友会館にて、研修生に対してオリエンテーションを実施した。

② 海外看護研修報告会

2019年12月23日(月)、霞が関の東海大学校友会館にて、理事、評議員等が出席して開催した。

(3) 米国看護師と我が国看護師との交流に関する支援

2019年10月29日(火)から11月10日(日)まで我が国に滞在したメヨークリニックの看護師4名と我が国の看護系大学やナショナルセンター、病院等が交流するに当たり、当財団は、事前に交流に関する日程調整を行うとともに、自らも米国看護師との意見交換や視察の支援等を行った。

(4) 2020年(令和2年)度の助成事業に対する公募及び応募者への対応

① 当財団は、2020年度の助成事業について、2019年10月10日(木)から2020年1月23日(木)までを受付期間として公募を行った。

② 公募実施のお知らせは、財団ホームページに掲示するとともに、各出版社の協力を頂き看護専門誌10誌にお知らせの掲載を行った。

③ また、2019年12月初旬に全国の860余の主要病院、大学等に募集要綱を送付した。

以上

2019年度

事業報告に関する附属明細書

- 1 海外看護研修助成対象者名簿
- 2 看護研究助成対象者名簿
- 3 専門看護師奨学金助成対象者名簿

1 2019年度 海外看護研修助成対象者名簿

メイヨークリニック 5名

敬称略 五十音順

氏名	勤務先	職名
こみやま だい 小宮山 大	北里大学病院	看護師・臨床試験コーディネーター (保健師・看護師)
しばやま かおる 柴山 薫	佐賀県医療センター 好生館	看護師 (保健師・看護師)
すが かおり 菅 香織	神戸大学医学部附属病院	副看護師長 (保健師・看護師)
にっとう ひろこ 日塔 裕子	ファミリーホスピス東林間ハウス	訪問看護師 (がん看護専門看護師)
むとう あきこ 武藤 亜紀子	武蔵野赤十字病院	助産師 (助産師・看護師)

2 2019年度 看護研究助成対象者名簿

6件 377.4万円

敬称略 五十音順
単位:万円

代表研究者 氏名	勤務先	職名	研究課題	助成額	申込額
井上 玲子	東海大学医学部看護学科	教授	家族支援専門看護師による家族看護実践の概念化に関する研究	33.6	56.9
今野 友美	防衛医科大学校医学教育部看護学科 順天堂大学大学院	助教 博士課程2年	周産期・育児期の母親のうつリテラシーに影響する要因	80	100
木村 真子	宮城大学看護学群	教授	在宅看護におけるヒヤリ・ハットKYT研修プログラムの開発と評価	62	77.4
林下 里見	医療法人榎山医院 九州大学大学院医学系学府	看護師 修士課程1年	総排泄腔遺残症患者の体験・継続的・包括的支援体制の構築に向けて-	58.1	89.1
横山 萌莉	東京大学大学院医学系研究科	修士課程1年	乳児皮膚アセスメントツールの予測妥当性の検証 -アトピー性皮膚炎の発症を予測できるか?-	63.7	79.6
吉本 照子	千葉大学大学院看護学研究科	教授	訪問看護事業所における新人訪問看護師育成支援ツールの開発と検証	80	100
合 計				377.4	503

3 2019年度 専門看護師奨学金助成対象者名簿

9名

敬称略 五十音順

氏 名	大 学 院 名	専 門 分 野
おおもり かずみ 大森 和美	日本赤十字広島看護大学大学院	がん看護
おかだ かずゆき 岡田 和之	聖路加国際大学大学院	急性・重症患者看護
おだ いくよ 小田 郁代	自治医科大学大学院	母性看護
つかだ ようこ 塚田 容子	東京慈恵会医科大学大学院	急性・重症患者看護
とぎき さやか 戸崎 紗弥香	群馬大学大学院	母性看護
なかの くにえ 中野 国枝	佐賀大学大学院	慢性疾患看護
みなみさと みのる 南里 穂	佐賀大学大学院	慢性疾患看護
みやさき きとみ 宮崎 里美	佐賀大学大学院	慢性疾患看護
みわ ようこ 三輪 陽子	愛知県立大学大学院	老人看護